



谷村 遼太 新名 亮介

湧永製菓の谷村遼太、新名亮介がドイツにハンドボール留学する。昨年从小賀野龍也がドイツ留学しているが、かつては玉村健次現監督や酒巻清治現トヨタ車体監督らもドイツリーグで腕を磨いてきた。谷村は1日に出発、新名は全日本社会人選手権後の10日に出発の予定。

5年目の谷村は、2000年から湧永に在籍したダグル・シングルソンが監督を務めるブンデスリーガ1部フクセベルリンの3部リーグでプレーする。期間は1シーズン。

出発を控え「話を聞き一時は悩んだが、とにかくハンドボールを楽しんで来たい」と話した。

エース格として活躍、日本リーグでは通算58試合に出場、181点を挙げており、昨年の全日本総合選手権では最優秀選手に輝いた。

昨年入社の新名は小賀野が所属する2部のライブチヒに加入し、当面は3部のゲーリッチでプレーする予定。新人として昨シーズンの日本リーグでは15試合に出場、5点を挙げた。期間は2シーズン。

中川英二ハンドボール部長は2年続けてのドイツ留学を決めることについて「伝統ある湧永製菓の一層の強化のため、海外で経験を積ませることになった。期待している」と留学の狙いを話した。

谷村・新名ドイツ留学

インターハイへ男女とも2年連続出場

男子呉工 女子清水ヶ丘

県高校総体は6月1、2日にインターハイ県予選を兼ねて広経大石田記念体育館で行われ、男子は呉工が2年連続4度目、女子は清水ヶ丘が2年連続2度目の優勝を飾った。

両校は7月30日から佐賀県神埼中央公園体育館などでのインターハイに出場する。呉工は3度目、清水ヶ丘は2度目の出場。

男子は後半、広の追い上げから壮絶な打ち合いとなったが、半ばすぎから焦りが出た広のミスをついた呉工が逃げ切った。

元田監督は「昨年の大敗(15-50)の汚名を返上したい」と雪辱を誓っていた。

前半は互いに譲らない拮抗した戦いとなった女子は、後半に入ると清水ヶ丘が地力を発揮し、5点差をつけて賀茂を下した。

広・賀茂に競り勝つ

《県高校総体兼インターハイ県予選 成績》

【男子】

▽1回戦

山陽32(16-7, 16-5) 12桜が丘
 呉港29(13-10, 16-12) 22賀茂
 城北22(11-12, 11-5) 17向原
 修道26(12-9, 14-6) 15廿日市
 三津田21(13-8, 8-8) 16如水館
 祇園北34(14-7, 20-9) 16西条農

▽準々決勝

呉工26(15-3, 11-12) 15山陽
 城北28(13-10, 15-11) 21呉港
 修道24(14-4, 10-6) 10三津田

▽準決勝

広32(11-9, 21-7) 16祇園北

▽決勝

呉工27(13-8, 14-15) 23広

【女子】

▽1回戦

桜が丘21(11-8, 10-6) 14祇園北
 賀茂11(7-3, 4-5) 8三津田

▽準決勝

清水ヶ丘30(15-5, 15-9) 14桜が丘
 賀茂11(5-5, 6-5) 10山陽

▽決勝

清水ヶ丘20(9-9, 11-6) 15賀茂



⇒清水ヶ丘
 ☆喜びの代表校☆
 呉
 工

26日からヒロシマ国際 東区スポーツセンター

カザフ男女、日本代表男女、中国・江蘇省女子、湧永製菓、メイプルが参加

■26日■	女子 カザフスタンvs中国・江蘇省	16:00
	女子 日本代表vsメイプルレッズ	18:00
	男子 日本代表vs湧永製菓	19:30
■27日■	男子 カザフスタンvs湧永製菓	13:00
	女子 日本代表vs中国・江蘇省	15:00
	女子 カザフスタンvsメイプルレッズ	17:00
■28日■	女子 中国・江蘇省vsメイプルレッズ	12:00
	女子 日本代表vsカザフスタン	14:00
	男子 日本代表vsカザフスタン	16:00

18回目となるヒロシマ国際大会が26日から3日間、広島市東区スポーツセンターで開かれる。海外からカザフスタン男女、中国・江蘇省の3チームを迎え、日本代表男女と地元から湧永製菓、広島メイプルレッズの合わせて7チームが参加、1回戦総当たりリーグを戦う。

日本代表は男子が来年1月のアジア選手権(場所未定)女子が12月の世界選手権(セルビア)を控え、新メンバーを加え戦力アップに励んでおり、カザフスタン、中国・江蘇省を相手にどのような戦いを見せるか注目される。男子・清水、女子・栗山監督の新体制となったの戦術浸透度も興味を引く。

一方、中国・江蘇省は平均身長177.7センチの大型チーム。ベテランと若手をミックス、平均年齢は20.9歳と若さを誇る。日本代表、メイプルレッズとの対戦が楽しみだ。

湧永製菓はエースの谷村がドイツ留学で欠けるが、仁平、中浦ら若手のプレーに注目が集まる。メイプルレッズは高山の故障に加え新城らが抜けた穴をどう埋めるか。

甲田中男子が2連覇

《安芸高田市カップ 成績》

【男子】
▽予選リーグ
東海中(愛知) 13-13 香川一中(香川) 矢掛フレンズ(岡山) 9-7 椿中(愛媛) 甲田中(広島) 13-11 東海中、香川一中 18-7 矢掛フレンズ、甲田中 19-12 椿中、東海中 12-7 矢掛フレンズ、甲田中 23-22 香川一中、東海中 12-7 椿中、甲田中 20-10 矢掛フレンズ、香川一中 14-13 椿中 *順位 ①甲田中 4勝②香川一中 2勝 1分け 1敗③東海中 2勝 1分け 1敗④矢掛フレンズ、1勝 3敗⑤椿中 4敗(2、3位は得失点差による)
▽4、5位決定戦
椿中 15(8-5、7-8) 13 矢掛フレンズ
▽準決勝
香川一中 20(6-9、14-8) 17 東海中
▽決勝
甲田中 36(19-18、17-15) 33 香川一中
【女子】
▽予選リーグ
大阪 Jr クラブ(大阪) 22-3 山田中(香川) 今治東中等教育学校(愛媛) 11-5 落合中(岡山) 大阪 Jr クラブ 21-11 甲田中(広島) 山田中 9-4 落合中、甲田中 17-6 今治東中等教育学校、大阪 Jr クラブ 24-4 落合中、甲田中 14-6 山田中、大阪 Jr クラブ 17-8 今治東中等教育学校、甲田中 17-8 落合中、今治東中等教育学校 8-6 山田中 *順位 ①大阪 Jr クラブ 4勝②甲田中 3勝 1敗③今治東中等教育学校、2勝 2敗④山田中 1勝 3敗⑤落合中、4敗
▽4、5位決定戦
山田中 16(7-4、9-1) 5 落合中
▽準決勝
甲田中 22(11-7、11-6) 13 今治東中等教育学校
▽決勝
大阪 Jr クラブ 26(8-12、18-13) 25 甲田中

安芸高田市カップ

女子は悔しい1点差2位

安芸高田市カップは6月15、16の両日、湧永満之記念体育館と安芸高田市吉田運動公園体育館で開かれ、男子は地元の甲田中が2年連続4度目(名称変更前を含む)女子は大阪ジュニアクラブが2年連続2度目の優勝をした。男子は予選リーグを4戦全勝でパスした甲田中が決勝でも2年生エース、左腕河原の18得点の活躍などで香川一中に競り勝った。女子は初優勝を狙う甲田中が GK 井上の好セーブ、左腕高木、ポスト平川らで前半4点をリードしたが、地力に勝る大阪ジュニアクラブが追い上げ、1点を巡る激しい戦いとなり、甲田中は1点差で悔しい逆転負けを喫した。

男子決勝で18得点を挙げ2連覇に貢献した甲田中・河原のシュート



ベストセブン 河原・中山 井上・高木

■個人表彰■

- ★ベストセブン
※男子
河原 脩斗(甲田中)
中山 史椰(甲田中)
川村 俊(香川一中)
内海 克哉(香川一中)
内田 匠(東海中)
佐川 健(椿中)
深瀬 風(矢掛フレンズ)
※女子
植松 莉子(大阪 Jr)
平川 愛(大阪 Jr)
井上 千夏(甲田中)
高木 麻代(甲田中)
渡邊悠衣花(今治東)
田中 優璃(山田中)
芦田 蒼(落合中)
★敢闘賞
※男子
岡部 光樹(甲田中)
岡田 将(香川一中)
浅野 教介(東海中)
馬越 将司(椿中)
陳達尔罕夫(矢掛フレンズ)
★女子
辻 菜乃香(大阪 Jr)
平川 結衣(甲田中)
今村 未来(今治東)
宮本 春菜(山田中)
大戸まどか(落合中)

安芸高田HCが初優勝

【県リーグ1部閉幕】

広島HC破り7戦全勝

《県リーグ1部勝敗表》

チーム	全日程終了			
	試	勝	分	勝点
安芸高田HC	7	7	0	14
日新製鋼	7	5	1	11
広島大	7	5	0	10
広島大	7	3	1	7
広島HC	7	3	0	6
AWC	7	3	0	6
海自隊江田島	7	1	0	2
マツダ	7	0	0	0

高男・低 安芸高田V6



高学年男子
安芸高HC



高学年女子
メイプルジュニア



低学年混成
安芸高田HC

全国小学生大会県予選

県小学生大会兼全国小学生大会県予選は6月9日、湧永満之記念体育館で開かれた。

高学年男子と低学年混成の部は安芸高田HCがいずれも圧勝で、第1回からの連勝を「6」に伸ばした。高学年女子は2チームが参加、メイプルジュニアがHC向原を大差で破り、初優勝を飾った。

高学年男女の1位は8月に京都での全国大会に出場する。

《県小学生大会 成績》

【高学年男子】
▽1回戦
メイプル Jr 17(7-5、10-5) 10 HC向原
安芸高田HC 18(8-1、10-2) 3 呉 Jr HC
▽3位決定戦
呉 Jr HC 13(7-2、6-3) 5 HC向原
▽決勝
安芸高田HC 15(7-5、8-4) 9メイプル Jr
【高学年女子】=出場2チーム
▽決勝
メイプル Jr 13(4-1、9-1) 2 HC向原
【低学年混成】
▽1回戦
呉 Jr HC 10(5-1、5-2) 3 HC向原
安芸高田HC 15(3-0、12-1) 1メイプル Jr
▽3位決定戦
メイプル Jr 7(5-0、2-0) 0 HC向原
▽決勝
安芸高田HC 10(3-1、7-2) 3 呉 Jr HC

2013年シーズン入りとなる全日本社会人選手権を前に湧永製菓が6月23日から6日間の日程で韓国に遠征、戦力アップを図った。海外遠征は2007年の韓国・仁川での国際実業団大会に参加して以来。強豪のHCコロサや斗山などと強化試合をこなした。玉村監督は「韓国の強い当たりやスピードを実戦を通して体験し今季につないでくれれば」と狙いを話した。

湧永が韓国遠征シーズン入り控え実戦

2012年度県リーグは6月23日で1部全日程を終わり、安芸高田HCが7戦全勝で初優勝を飾った。2部は日程の調整がつかず消化できなかった。

2013年度も同日始まり、尾道大が2部に参加したため、呉HC、Rが1部に昇格した。

★県リーグ最終日(6.23 日新製鋼呉体育館)

▽1部 安芸高田HC 22(11-10、11-10) 20 広島HC、広島HC 25(13-9、12-9) 18 AWC

★2013年度県リーグ第1日(6.23 日新製鋼呉体育館)

▽1部 日新製鋼 27(14-6、13-10) 16 マツダ、広島大 28(15-7、13-13) 20 海自隊江田島、広島大 22(9-10、13-10) 20 呉HC、R▽2部 修道大 18(10-4、8-10) 14 尾道大

■お願い■ 「ひろしまハンドボール」は今回で第106号を迎えました。これもひとえに関係者皆様方のご協力があったのことに感謝しております。いっそうの充実を図るためには、情報の提供は欠かせません。なんでも結構ですので、皆様からのご意見、ご要望を含めどしどしお寄せいただきますようお願い致します